

伊深の里の標柱めぐりウォーキング

2014.6.14 東周りコース



① 天王用水

川浦川より水を取り、水路延長約550m、灌漑面積約65haに及ぶ灌漑用水で、農具や暮らしの道具、野菜などを洗う生活用水でもある。



② 最乗寺 (さいじょうじ)

伊深で唯一の浄土真宗本願寺派の寺。山名は白龍山。創建は大永6(1526)年、本願寺第九世実如の子林開による。明治42(1909)年に現在の建物になった。

七間四面の本堂の中央部分に柱がないことが特徴。柱はケヤキが使われている。



③ 高倉神社

牛頭天王を祀る。厄病退散の碑がある。競べ馬の馬場があった。



④ 伊深温泉跡

渡辺新一氏は、昭和7年、西切に出た冷泉を、景色のよい川浦川河畔に鉛管で引き込み、「雅仙楼」という温泉旅館を開業した。名古屋などからの客が多く、一時はよく賑わったが、戦争が始まると客足が減り、廃業となった。



⑤ 天王用水取水口

天王用水取り入れ口のトンネル工事は、明治22年、伊深村の柴田長七が独力で施工した。長さ23m、幅80cm、高さ70cmのトンネルである。



⑥ 新谷 (にたに) の池

井上太十郎が村長の時代に、伊深沖の田に水を引くための灌漑用水池として、村人を説得して造った池。



⑦ 牛牧の桜並木

40年前くらいに植えられ、その後も2~3回にわたって、少しずつ植えられて約80本のソメイヨシノの桜並木である。



⑧ 岩山の絶景・幻の滝

水墨画に描かれるような見事な岩山の景色である。春には山桜やひかげつつしが咲く。大雨の後には、山頂から流れ落ちる幻の滝が見られる。



⑨ 白山神社

北野地原の村社



⑩ 稲荷神社

南野地原の村社



⑪ 龍宮の淵

龍宮の淵を覗くと、オトヒメサマの足跡が見られるという言い伝えがある。昔、お椀などを貸してほしい人がここでお願いすると、あくる朝揃っていた。ある時、借りたお椀を返した若者が、竹藪に隠れていて、オトヒメサマを見てしまったので、それ以来、お椀を貸してもらえなくなったという話も伝わっている。



⑫ 正眼寺

臨済宗妙心寺派の寺。「妙心寺の奥の院」とも呼ばれる。京都大徳寺の大燈国師に師事し悟りを開かれた関山慧玄(かんざんえげん=無相大師)は約9年間、村人に交じって牛を牧し、田を耕しつつ悟後の修行に励んでおられた。ある日妙心寺の開山として花園法皇の勅使に迎えられ、やむなく伊深を離れ、京に上られた。

江戸時代に入って法孫の大極禅師が、この地に初祖山円成寺を創建し、のち妙法山正眼寺と改められた。さらに雪潭禅師によって修行道場となり、全国から集まる修行僧が厳しい修行に励む道場として知られている。本堂裏開山堂には、開山無相大師の座像がある。毎年10月12日は開山様の法要「開山忌」でにぎわう。春には本堂前のしだれ桜(市指定天然記念物)が、秋には放生池辺りの紅葉が美しい。

